
デザイン学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

デザイン学部では、学部の基礎的な共通教育に加えて、各分野の専門教育により、人間・社会・自然の調和を目指したデザインを創造できる能力を身に付け、課題を主体的に発見・解決し、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

デザイン学部では、教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身に付けていることを求めます。さらに、デザインを学ぶ上で基礎となる知識・技能と、これらに基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域や社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いてください。

そして、大学で身につけた知識と技能を活かして、岡山県をはじめとした地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲をもつ人を求めます。

【入学者選抜の基本方針】

デザイン学部の各学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、学科ごとの入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

ビジュアルデザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、グラフィック・映像各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展に、主体的に寄与するグラフィックデザイナー・映像クリエイターの育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

ビジュアルデザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、ビジュアルデザイン各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・提案を進めるために必要な思考力と構成力・表現力を求めます。また、自然・文化・社会のモノ・コトを観察するとともに、その関係を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語:文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

数学:数理的な基礎能力

理科・地理歴史・公民:基礎的な学習内容の理解

情報:問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力(知識及び技能)

美術:工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

ビジュアルデザイン学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

(前期日程)

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査(調査書等)により評価します。

大学入学共通テストで5教科5科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。論理的思考力、基礎的な英語力、問題解決に向けての能力を評価するため、国語、英語、情報を必須とします。また、残る2科目は選択とします。

個別学力検査等では実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察力や技術力を評価します。

書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績を評価します。また生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の描写)を課し、読解力・空間や立体物等の把握力・思考に基づく判断力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。加えて、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲とともに総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では、実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察力や技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を評価します。また、推薦書や志望理由書を参考にしながら社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等及び書類(調査書、推薦書、志望理由書等)を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では、実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等及び書類(志望理由書等)を参考にした面接、日本留学試験、TOEFL(iBT)により評価します。

TOEFL(iBT)では国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験から、高等学校等で修得すべき教科・科目の知識・技能として、「日本語の文書能力」の基礎的な能力を評価します。

個別学力検査等では、実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、日本語による個人面接を行い、志望理由書を参考にしながら、社会に対する興味関心、日本語の理解力と表現力、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

工芸工業デザイン学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域・国際社会で活躍でき、また社会の持続的発展に主体性を持って貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

工芸工業デザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、工芸工業デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、デザインを進めるために必要な造形力・表現力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語:文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

数学:数理的な基礎能力

理科・地理歴史・公民:基礎的な学習内容の理解

情報:問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力(知識及び技能)

美術:工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

工芸工業デザイン学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

（前期日程）

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査（調査書等）により評価します。

大学入学共通テストでは4教科4科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。論理的思考力、基礎的な英語力、問題解決に向けて情報を扱う能力を評価するため、国語、英語、情報を必須とします。また、残る1科目は選択とします。

個別学力検査等では実技（鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野における実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査（調査書、志望理由書等）により評価します。

個別学力検査等では実技（鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。加えて、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲とともに総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査（調査書、推薦書、志望理由書等）により評価します。

個別学力検査等では実技（鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。また、推薦書や志望理由書を参考にしながら社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査（調査書、推薦書、志望理由書等）により評価します。

個別学力検査等では実技（鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査（志望理由書等）、日本留学試験、TOEFL (iBT)により評価します。

TOEFL (iBT)では国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験から、高等学校等で修得すべき教科・科目の知識・技能として、「日本語の文書能力」の基礎的能力を評価します。

個別学力検査等では実技（鉛筆デッサン）を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、日本語による個人面接を行い、志望理由書を参考にしながら、社会に対する興味関心、日本語の理解力と表現力、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

建築学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる幅広い知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に、主体的に寄与する建築家や建築分野の専門家の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

建築学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、コミュニケーション能力、数理的・論理的な思考力と表現力、自然・文化・社会についての基礎的な知識を求めます。

また、建築デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・設計を進めるために必要な、基礎的な立体・空間把握力、現実の建築や空間・都市を持続的に観察し、人間の行動や心理を考察する力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語:コミュニケーション、文章読解、文章表現に必要な英語力の長期的な学習を見据えた基礎学力
国語:文章読解力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力
数学:数理的な基礎能力と、論理的に解を導き出す思考力
理科・地理歴史・公民:基礎的な学習内容の理解
情報:問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力(知識及び技能)
美術:立体・空間の構成力と表現力

【入学者選抜の基本方針】

建築学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

(前期日程)

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査(調査書等)により評価します。

大学入学共通テストで5教科6科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。基礎的な論理的思考力、英語力、問題解決に向けて情報を扱う能力を評価するため、国語、数学①、数学②、英語、情報を必須とします。また、残る1科目は選択とします。

個別学力検査等では、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)を課し、空間や立体物等の把握力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績、資格・検定試験の成績を評価します。また生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)を課し、空間や立体物等の把握力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、多様な経験を含め、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。加えて、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲とともに総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、建築・都市・空間等に関する観察力や人間の行動・心理に関する考察力、自らの考え・理解を正しく伝えるための文章構成・表現力、論理的思考力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績や生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。また、推薦書や志望理由書を参考にしながら社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、建築・都市・空間等に関する観察力や人間の行動・心理に関する考察力、自らの考え・理解を正しく伝えるための文章構成・表現力・思考力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査(志望理由書等)、日本留学試験、TOEFL(iBT)により評価します。

TOEFL(iBT)では国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験では、「日本語の文書能力」や「数学の基礎的能力」を評価します。

個別学力検査等では実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)を課し、空間や立体物等の把握力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、日本語による個人面接を行い、志望理由書を参考にしながら、社会に対する興味関心、日本語の理解力と表現力、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。